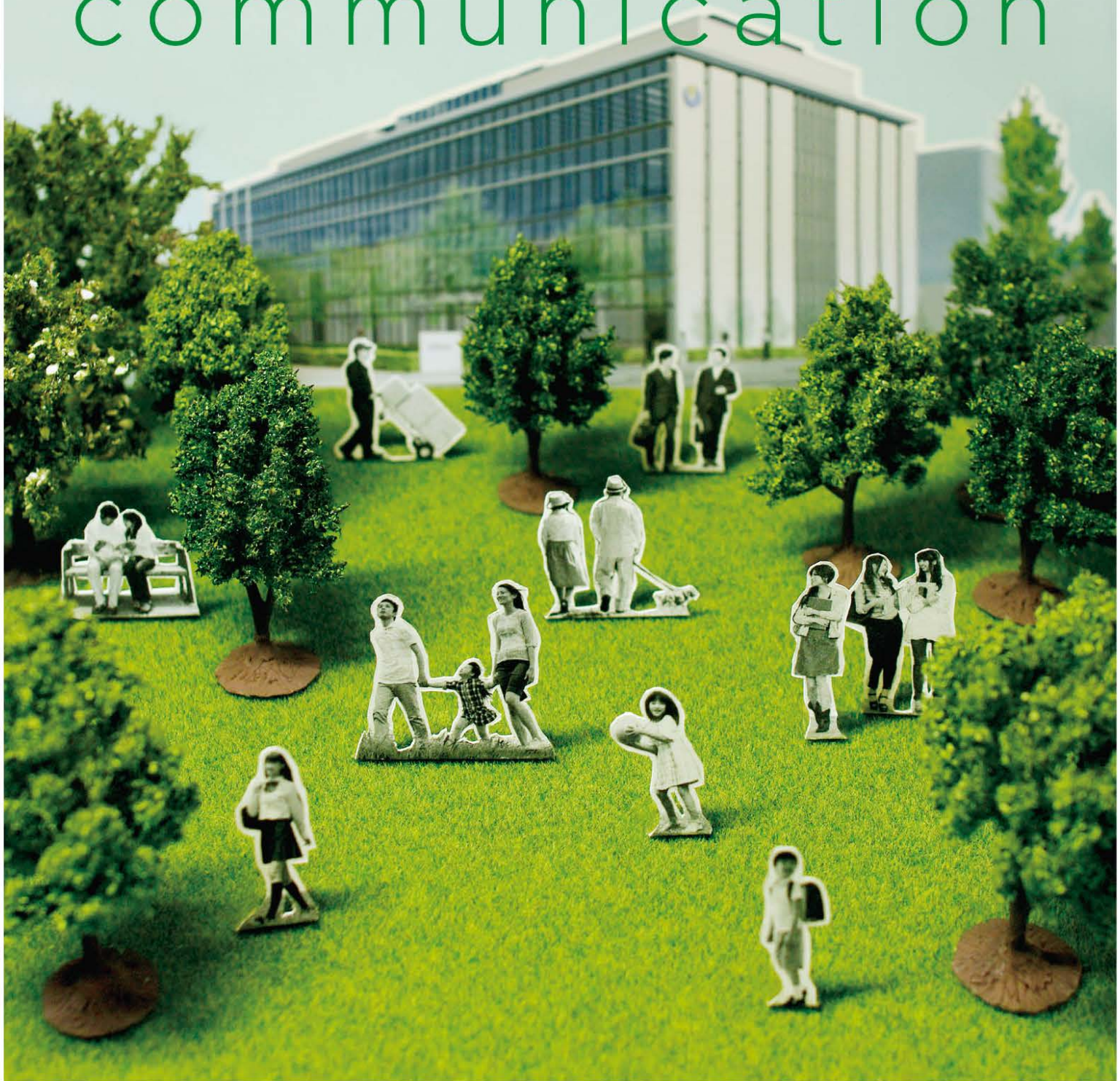


Guide of the new head-office building

新本社ビルのご案内



# INTEGRATED communication





# Concept

コンセプト

## 人と自然を育む「森のオフィス」

豊かな自然と技術を駆使した電算新本社ビルは、たとえるなら「創造の森」——。自然に配慮した快適環境と、働く者が協働してゆく空間は、モチベーションを高め、多彩な才能の交流を生み、新しい創造性が期待できます。

そして緑豊かなランドスケープは、まさに、まちに生まれた「森」。

豊かな緑は水を浄化して美しい空気を生み出し、市街地にありながら癒しを与える存在として、地域に溶け込む快適な環境をつくります。わたしたちは、森がそこにあるような、快適な環境を生み、そして森が育つように時代に応じて進化する、そんな新しいオフィスを目指しています。

## Community 地域と自然に寄り添う場所

地域



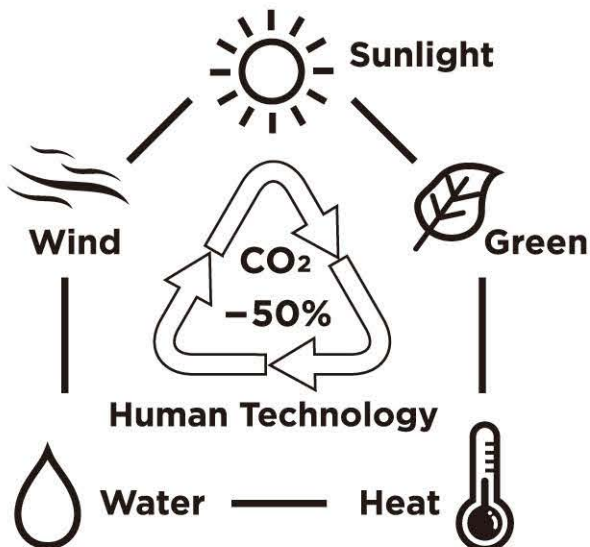
果実が鈴に似ていることから「スズカケノキ」とも呼ばれるプラタナスの並木が四季を知らせる通りに、新本社ビルはたたずみます。端正な外観は地域に溶け込み、敷地を彩る豊かな緑は、「森」をつくりあげています。

森は癒しの場として人々の目や耳、そして心を癒すだけでなく、風の通り道となってさわやかな空気を地域に吹き込み、夏の気温低下にも効果を発揮することでしょう。緊急時には避難場所として、地域のみなさんを迎える場所にもなります。

建物は、いわば近代の森。豊富な地下水を汲み上げてエネルギーに換え、太陽の光を受けてエネルギーを生むとともに、室内に明るい光を取り込むことで、働く人、訪れる人の活力につなげています。電算新本社ビルは、地域と自然に寄り添いながら、ともにあり続けられるよう努めていきます。

## CO<sub>2</sub> 削減

## 自然と技術でCO<sub>2</sub> 約50%削減



風、水、光、緑——。わたしたちは、長野県の恵まれた自然に深い感謝を捧げ、そこから生み出されるエネルギーを、余すことなく大切に利用するとともに、建物の設備や構造には、人々の英知を結集させた最先端の技術を取り入れ、環境にやさしいオフィスを実現しました。

「自然の力」と「人間の技術」。それらを融合させた新本社ビルは、旧本社ビルと比較して、CO<sub>2</sub>排出量約50%の削減を意図しています。

この取り組みは国土交通省からも認められ、「平成23年度 第1回住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」プロジェクトとして採択されています。



# 感性や知性を高め、コミュニケーションを活性化する空間構成

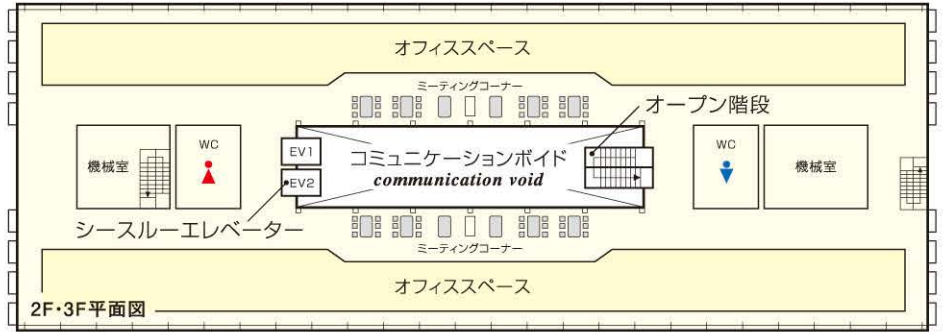
## Open Office

### オープン・オフィス

新本社ビルのなかでも圧倒的なインパクトを持つのが、オフィス中央部に配された「コミュニケーションボイド」と呼ばれる吹き抜けです。

天井からこぼれるやわらかな太陽光が、オープン階段やシースルーエレベーターとともに、開放的な吹き抜け空間をより明るく演出しています。

吹き抜けを通じて各階がつながり、仕切りのないオフィス空間とともに、人の行き来を誘発します。そうして上下階、部門を問わず、活発なコミュニケーションが生まれ、まるで化学反応のように今までにないアイデアが生まれることを予感させる空間構成です。



## Sunlight

### 光エネルギー

### 太陽の光と上手に向き合うオフィス

地球の未来を創造するのは化石エネルギーではなく、風、水、光などに由来する自然エネルギーです。

なかでも豊かに降り注ぐ太陽は、発電により電力を生み出してくれるほか、自然光を取り込むことで、オフィス空間を透き通るような清々しさを満たしてくれます。それは停電時にも十分な明るさで、照明の電力消費量を従来の60%以上削減することにも役立っています。

一方で、直射日光や西日は、熱負荷の増加や、ときに快適性を妨げることも。そこで、南面には日差しをカットしながら眺望も確保する庇、西日を適切にカットするスリット窓、太陽高度と昼光を読み取り自動で角度を調整するブラインド等で、デメリットを最小限にする工夫も施すなど、太陽の光と上手に向き合い続けることを可能にしています。



# INTEGRATED communication



▲オフィススペースの自然換気窓(エコロペ)

## 自然の空気を室内に

夜間の冷涼な外気を取り入れ建物を冷却する「ナイトバージ」をはじめ、自然換気窓から室内へ空気を取り入れ、コミュニケーションポイドを空気の通り道にして、トップライト(天窗)の排気窓から放出する自然換気を行い、室温を調整します。



## 敷地にも、屋上にも、緑を

建物周辺に緑を植えて「緑の中のオフィス」を目指すとともに、緑豊かで風が吹き抜ける地域環境を創造します。また、屋上テラスにも緑を配し、建物の断熱性の向上に貢献しています。

心地良い風の通る吹き抜け  
創造のモチベーションが高まる  
人と環境にやさしい  
未来を築くオフィス



▲地下配水管



▲温度調節をする1F放射ルーバー

## 雨水・井水も貴重な資源

冷暖房、緑への散水、無散水融雪、トイレ洗浄水などに雨水・井水を使用しています。井水の外気温との差を利用して「木陰のような涼しさ」と木漏れ日のようなやわらかな温かさを実現。冷房時の冷水をつくる際に発生する排熱を湿度調整に用いています。



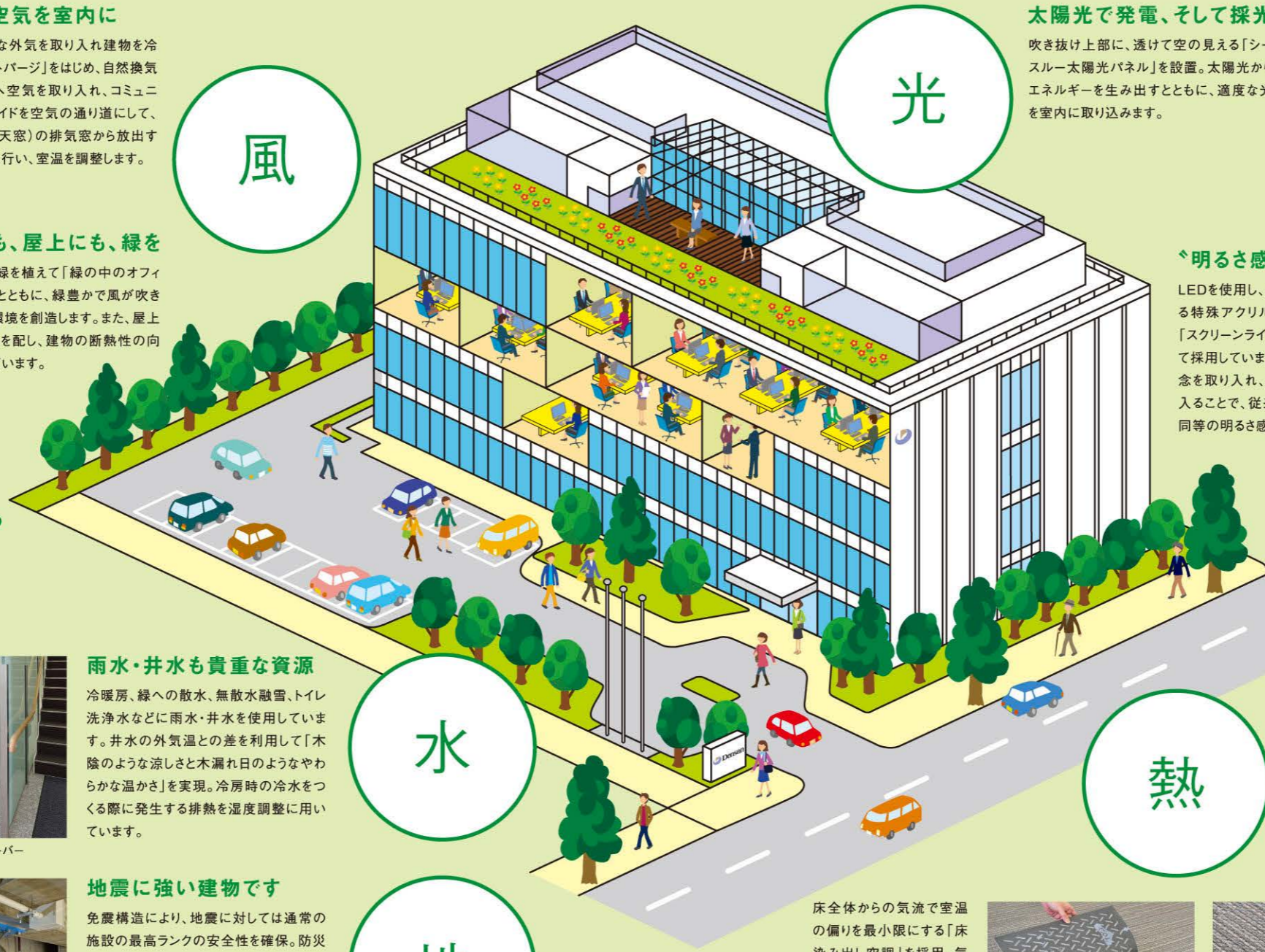
▲積層ゴム



▲鉛ダンパー

## 地震に強い建物です

免震構造により、地震に対しては通常の施設の最高ランクの安全性を確保。防災拠点などと同様に、地震が起きたあとも機能が維持できる施設を目指しました。構造体は、国土交通省制定の「官庁施設の総合耐震計画基準」に規定されたI類に準拠しています。



## 太陽光で発電、そして採光

吹き抜け上部に、透けて空の見える「シーソー太陽光パネル」を設置。太陽光からエネルギーを生み出すとともに、適度な光を室内に取り込みます。



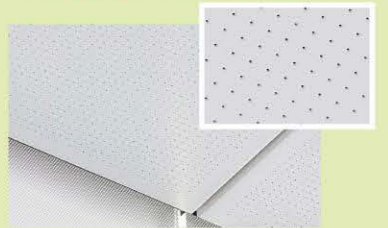
## ◇明るさ感、を高める照明

LEDを使用し、光をエッジから入れ、面発光する特殊アクリル板を天井と垂直に配置した「スクリーンライト」を、オフィスでは国内で初めて採用しています。これにより明るさ感の概念を取り入れ、適度な明るさの面が目に入ることで、従来の半分以下のエネルギーで同等の明るさ感を確保する計画としています。



## 天井、窓、床を利用して放射で室内を快適に

井水の冷気を利用した「天井放射冷房」により、室温だけではなく、居住者の体感温度を調整。風による不快感がなく、均一な熱環境が保たれた、快適かつ静かな空間を実現。



断熱性の高い「Low-e発熱ガラス」で、室内の熱を逃がさず、結露や窓周辺の寒さによる不快感を防止しています。



床全体からの気流で室温の偏りを最小限にする「床染み出し空調」を採用。気流は微風のため、快適性を損わずに、居住域に新鮮な空気を供給します。

